

WEIN/BACKSTAGE Group

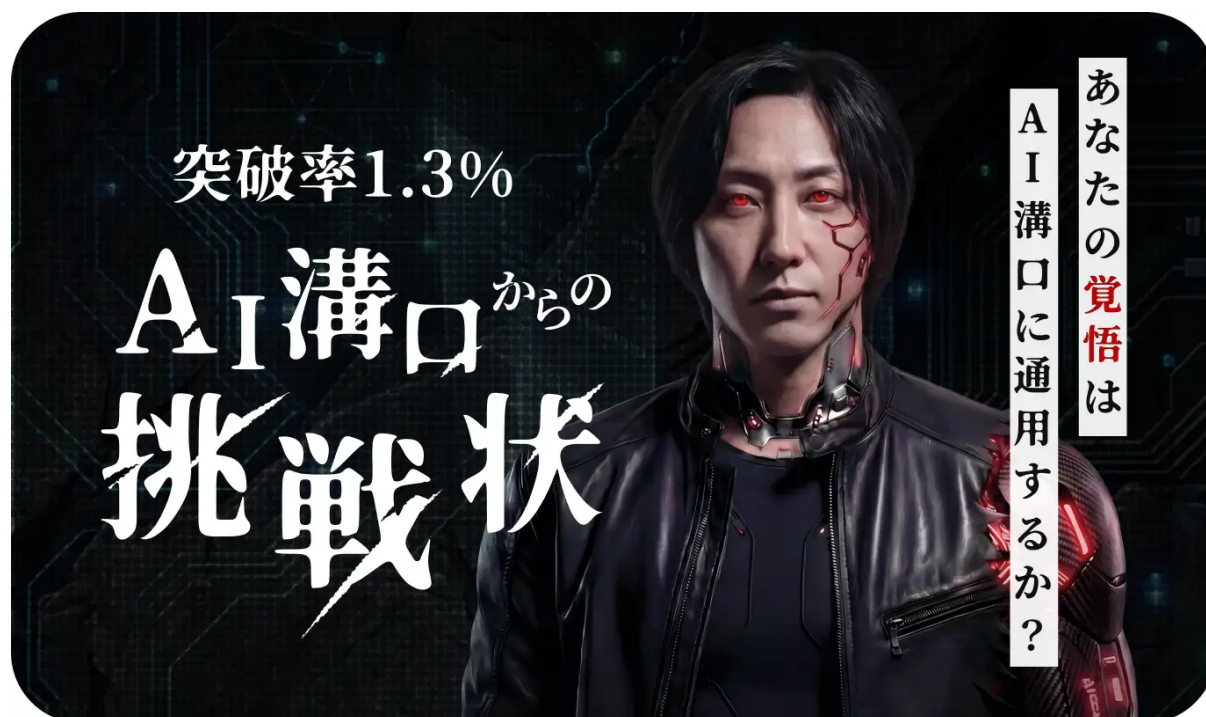
報道関係各位

2026年7月28日
WEIN / BACKSTAGE Group

溝口勇児との対話が、音声からアバターへ。
「AI溝口面接」、進化。

～リリース16日・1,600人が体験した音声AI面接が、今回のアップデートでアバターと連動。CEOと「話す」から「向き合う」採用体験へ。～

WEIN/BACKSTAGE Group(本社:東京都港区、代表取締役:溝口勇児)は、CEOである溝口勇児の思考・価値観・判断基準をAI化した採用面接「AI溝口面接」について、音声AIに加え、溝口勇児本人をモデルにしたアバターと連動する形にアップデートしたことをお知らせします。



■ 背景:なぜ今、これをやるのか

プロダクトのコモディティ化が進む中、採用市場においても同様の変化が生じており、企業が候補者に選ばれるための競争軸は、待遇や条件面のみでは成立しにくくなっています。

WEIN/BACKSTAGE Group

こうした状況において重要性を増しているのが、経営者自身の考え方や価値観を候補者に伝えることです。自身の思考や価値観を発信する経営者は、それ自体が企業のブランドとなり、共感した人材を惹きつける効果を持ちます。

CEOの溝口勇児は、『REAL VALUE』『NoBorder』『LAST CALL』『BreakingDown』などの事業を通じて、こうした発信を継続的に実践してまいりました。一方で、SNSや登壇機会を通じて多くの候補者へ情報を発信することは可能である一方、採用選考の現場において全ての候補者と直接対話を行うことには限界があるという課題がありました。

「AI溝口面接」は、こうした課題を解決する取り組みとして、候補者が企業理解やカルチャーマッチを、代表である溝口のアバターとの対話を通じて体験できる機会を提供するために開発されました。

■「AI溝口面接」とは何か

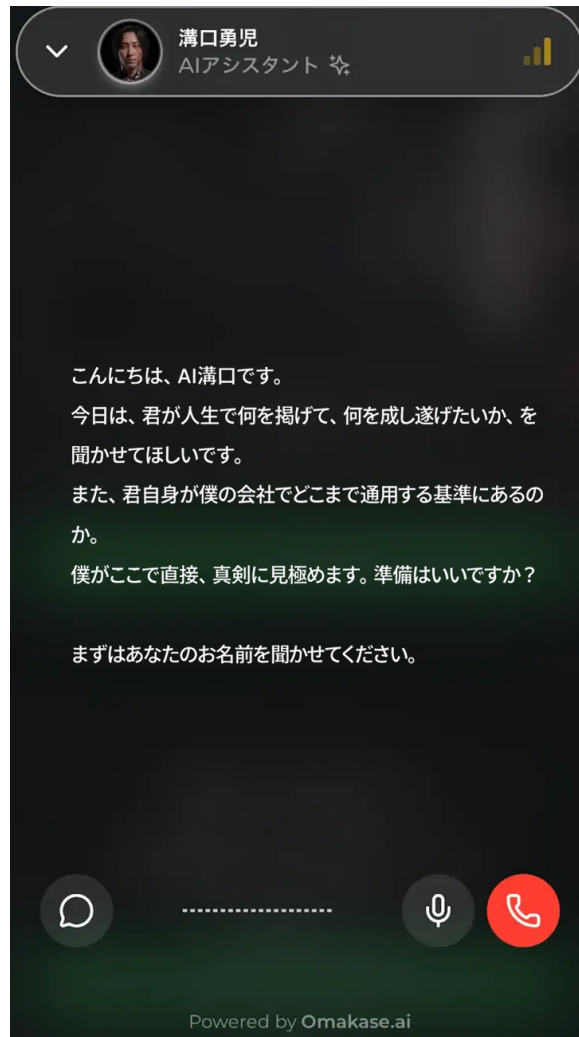
すでに実現していた——音声AIとの対話

AI溝口面接は、溝口勇児の思考・価値観・判断基準を学習した音声AIとしてスタートしました。

リリースから16日で約1,600人が体験し、平均会話時間は約17分。(※当社集計)

選考応募前に社長の考え方を持つAIと対話できる採用体験として、多くの反響をいただきました。

WEIN/BACKSTAGE Group



今回のアップデート——アバター連動でさらに進化

今回のアップデートでは、音声AIに加え、溝口勇児本人をモデルにしたアバターを連動。候補者は、声だけではなく、表情や存在感まで含めたリアルな対話体験が可能になります。

その上での差別化——「誰のアバターか」がすべてを変える

AIアバターそのものは珍しい技術ではありません。音声対話にとどまらず、アバターと話す対話型AI面接を提供する企業も増え、その技術は各社横並びで珍しいものではなくなっています。

しかし「AI溝口面接」が実現したのは、一方的に見極める「AI面接官」ではなく、「CEO本人」と対話できる採用体験です。重要なのは技術力ではなく「誰と話せるか」。その違いが、採用体験そのものを変えます。

「AI溝口面接」のアバターは、「CEOの溝口勇児」です。ここが最大の価値であり他社との違いです。

WEIN/BACKSTAGE Group

	通常のAI音声	溝口勇児の音声	通常の AIアバター	溝口勇児の AIアバター
目的	効率化・選別	対話（音声のみ）	効率化・選別	対話（対面の実体験）
候補者の体験	審査	企業理解	審査	企業理解
タイミング	選考応募後	選考応募前	選考応募後	選考応募前

参考動画:  《AI溝口面接 始動》溝口勇児との面接を録画してみた.....。

■ ランク設計: 対話の質が、次の体験につながる

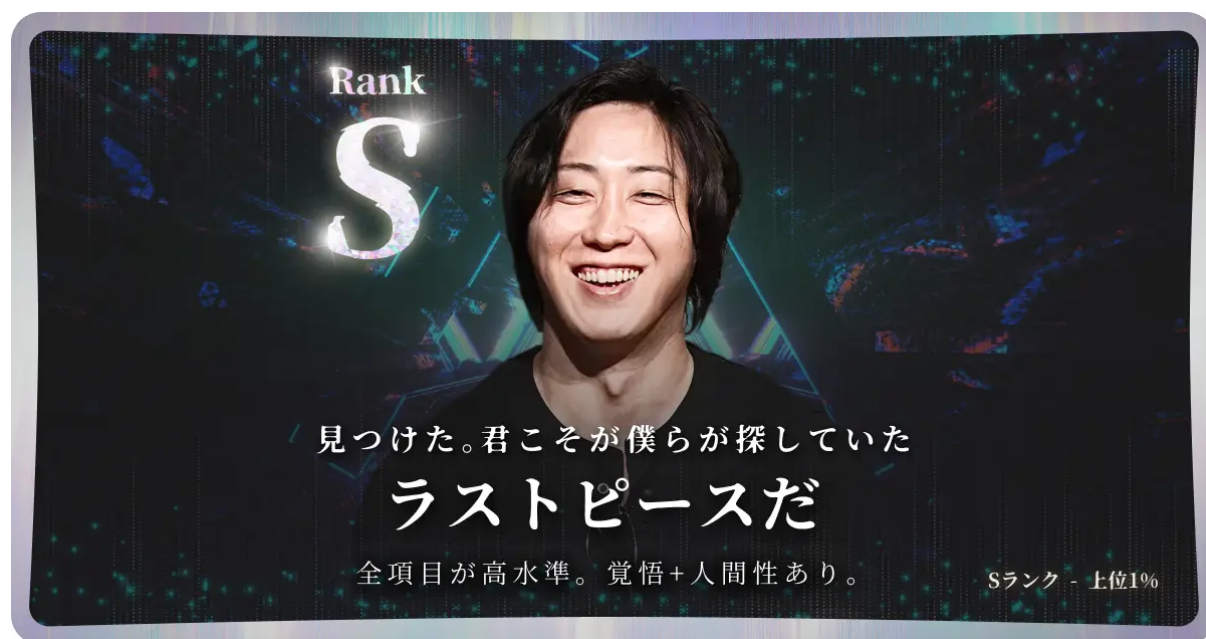
AI溝口面接での対話は、思考の深さ・判断軸・姿勢をもとに分析され、ランクに応じて次の体験へとつながります。

Sランク: 溝口勇児本人とのランチ会に招待

Aランク: 食事付き本社見学会に案内

Bランク: 面接官指名のカジュアル面談に案内

面接のように合否を出すわけではなく、評価ランクに応じて、次の選考ステップが変わります。



■ AIを使って「向き合う」採用へ

WEIN/BACKSTAGE Groupは、採用の入り口を「求人票」から「代表との対話」へと変えることを目指し、本取り組みを推進してまいりました。

代表が企業の顔としてSNSやメディアを通じて発信を行う時代において、採用活動も例外ではありません。一方で、代表自身が採用の現場に直接関与するには時間的な制約があります。「AI溝口面接」は、こうした制約を超えるための仕組みとして開発されました。

WEIN/BACKSTAGE Group

AIを効率化の手段としてのみ活用するのではなく、企業の顔である代表が候補者と真摯に向き合うための仕組みとして活用すること。これが、WEIN/BACKSTAGE Groupが考える採用のあり方です。

▼AI溝口面接からの挑戦状はこちら

<https://ai-mizoguchi.backstage.inc/>

【当社CEO 溝口勇児について】

連続起業家。

2012年に FiNC Technologies を創業・代表取締役CEO就任。

ヘルスケアアプリで 1,200万DL 突破、総額 150億円超 を調達

2022年に BACKSTAGE 創業。BreakingDown・NoBorder・REAL VALUE・LAST CALLなど、月間計7億回再生メディアの創設・運営を主導。

著書『持たざる者の逆襲』。

YOAKE Group CEO / REAL VALUE CEO / 「WIRED Audi INNOVATION AWARD 2018」選出 / 日経ビジネス「若手社長が選ぶベスト社長」2017年 選出

【WEIN / BACKSTAGE Groupについて】

「この国を、もう一度、挑戦者に」というミッションを掲げ、SNSの圧倒的な影響力を武器に社会変革を目指す次世代のエンターテインメント×テクノロジー集団です。

格闘技イベント『BREAKING DOWN』のプロデュースをはじめ、経済エンターテインメント番組『REAL VALUE』、地上波タブーに切り込む『NoBorder』、キャバ嬢オーディション番組『LAST CALL』など、多彩なコンテンツを展開しています。

【会社概要】

会社名: WEIN / BACKSTAGE Group

設立日: 2022年4月11日

代表取締役社長: 溝口 勇児

本社所在地: 〒105-0014 東京都港区芝2-2-12 浜松町PREX 3F・5F・6F

事業概要: 各種興行の制作および運営 (BreakingDown、XD、BOB 等)、各種番組の企画および制作 (REAL VALUE、NoBorder、NoBorder NEWS、LAST CALL 等)

WEIN / BACKSTAGE Group

会社サイトURL: <https://backstage.inc/recruit>

※ WEIN / BACKSTAGE Groupの名称・ロゴは、日本国およびその他の国におけるWEIN / BACKSTAGE Groupの登録商標または商標です。

※ 記載されている会社名・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

※ プレスリリースに掲載されている内容、サービス／製品の価格、仕様、お問い合わせ先その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。

＜本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先＞

WEIN / BACKSTAGE Group 広報担当

E-mail: pr@wein.co.jp